

滋賀近江八幡水都八都

発行責任者:近江八幡観光物産協会
滋賀県近江八幡市為心町元9-1(白雲)

12000部発行／定価50円 2020年5月初版
TEL:0748-32-7003



近江八幡觀光物産協会 MIHACHIMAN TOURISM ASSOCIATION

水都」は水郷のまち、「八都」は近江八幡を指しており、それをスイートハート(恋人)とかけて“近江八幡は郷土の上にあっても観光客にとっても「恋人」のような素晴らしい街である”ということを表したもので

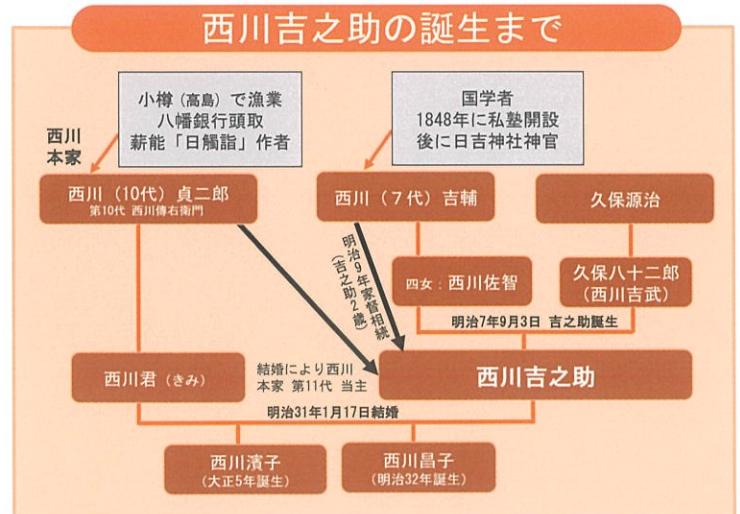
発行責任者:近江八幡観光物産協会
滋賀県近江八幡市為心町元9-1(白雲)

12000部発行／定価50円 2020年
TEL:0748-32-7003

特別号 No.28

西川吉之助 yoshinosuke nishikawa

きこえない／きこえにくい子に愛の教育を
自らの子の**聲**^{ろう}にすべてをかけ、口話法に挑戦
それを日本に広め、一生を捧げた男の人生



7年)9月3日に、久保八十二郎(西川吉武)と、第七代西川吉輔の四女佐智との間に産されました。父、西川吉武が1876年(明治9年)に亡くなり、同年、吉之助は幼少二歳にて、西川家の家督を相続することになります。国学者としても有名な第七代西川吉輔は、1848年(弘化5年)に私塾を開設し、さらに日本神土の神官として活躍します。



この吉輔が1880年（明治13年）に没すまで、実父を早く亡くした吉之助は、祖父吉輔の影響を受け、国文学・美詩・漢文にも明るく、後に

傾けた商家でした。



吉之助の記録に残る最初の文章はこの西川傳右衛門が出版した東北から江差（北海道）の旅行中に作られた漢詩の詩集「北溟遺珠」（添田弼著）の紹介である。

小樽に住み、家業を助けていた吉之助は、1895年（明治28年）、夜間制の私立小樽商業高校を設立します。その当時、多くの銀行が建てられ栄えていた商業都市小樽には、学校設立が乱立し、公立普通高校が設立されるにあたり、吉之助の夜間商業高校は閉鎖となり、北海道から借りていた土地を返すことになります。

文であり、これは今も北海道立図書館に蔵書として残されています。吉之助は、祖父吉輔の私塾に始まる教育家と血筋と、義父の貞二郎の近江商人・文人としての血筋を持つて

八幡長を務める一方、日本初となる人、八幡銀行設立に関わるなど近総理事「伊庭貞剛」は「近江商人の

「に松前城下は店を出し、松前藩なります。彼は、「子孫たるもの決して田畠を購い、或いは事業を起業振興の刷新に投ぜよ、我が家はふも豪も悔いなし」との遺言通り、

即（西川傳右衛門）

卷一

受け継いでいかないかと、微力ながら、私なりに奮闘しています。

口語法を通して聴覚障害児教育を推進する「日本教育オーディオロジー研究会」の代表理事を務めています。こうした大学内外の聴覚障害児教育の研究活動の原点として、吉之助の意見への思いをひきだら

幡市を尋ね、吉之助の五男仲二氏から資料を複写いただきました。このことで、吉之助研究は私のライフワーク研究となりました。私は、現

1981年（昭56年）に愛媛大学の豊学校教員養成課程に入学した私は、当時の井原栄二教授の授業にて、西川吉之助のことを使わりました。その後、私は豊学校の教員として就職し、聴覚口話法を実践しながら、この教育法を日本に持ち込んだ

